

授業科目 基礎看護学実習Ⅱ

【担当教員名】 阿部明美	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	90

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

看護を必要としている人々を受け持ち、看護過程を実際に展開し看護を実施する。「看護実践法演習」で行った看護過程の展開を、実際に看護を必要としている人々を受け持ち展開する。看護過程の展開を用いて看護診断を明らかにし、日常生活の援助技術を中心に対象に必要な看護を実施し評価する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 実習の目的・目標および留意点をふまえ実習方法が説明できる。
2. 実習を行う上で必要な事故防止・倫理的配慮について説明できる。
3. 患者との援助の人間関係が形成できる。
4. 患者の基本的ニーズをアセスメントできる。
5. 患者の看護診断を明らかにし、患者に応じた計画の立案ができる。
6. 日常生活の援助技術を中心に、安全安楽・倫理的配慮を考慮し、患者に応じた援助が実施できる。
7. 実施した援助が評価できる。
8. グループダイナミクスやカンファレンスの意義について述べるができる。
9. グループメンバーと協力してカンファレンスが実施できる。
10. 実習での学びを通して今後の学習課題を明確にすることができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1. 学内オリエンテーション 2. 病院・病棟オリエンテーション 3. 病棟実習（約2週間） 1) 一人の患者を受け持ち実習を行う 2) 患者にとっての基本的ニーズをアセスメントし、看護診断を見出し計画の立案および援助を実施する 3) 看護過程の各段階を、所定の記録用紙に整理する 4) カンファレンスの実施 5) 実施した援助の評価 4. 実習のまとめ	1, 2, 8	実習グループを編成し、各実習施設にて実習を行う。 (基礎看護学全教員)
		1, 2	
		2-9	
		10	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	実習要項 プリント類			
【評価方法】	【履修上の留意点】			
出席状況 (10%)	1. 看護実践法演習・基礎看護学実習Ⅰを履修していることが前提である。			
実習目標の達成状況 (70%)	2. 対象の安全・安楽の確保やプライバシーの保護など、倫理的な配慮には十分に留意する。			
終了レポート (20%)	3. 日常生活の援助技術・フィジカルアセスメントの事前学習を充分行い実習に臨むこと。			
	4. 看護過程の展開方法について、振り返りを充分行うこと。			